2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	IoT検定対策授業		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	303教室
担 当 教 員	吉田　研一	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

IoT技術が注目され、これを取扱う人材が渇望される近年において幅広いIoT技術に関する知識を保持していることを証明するため、IoT検定のプロフェッショナル・コーディネータ試験合格、パワー・ユーザ試験グレードC突破を目指す

《成績評価の方法と基準》

試験　70%
出席　20%
平常　10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

IoTの全てを網羅した決定版 IoTの教科書
問題を解いて実力をチェック　IoTの問題集
IoTの全てを網羅した決定版　IoTの教科書

《授業外における学習方法》

演習問題の解説をよく読み、不明な点は参考図書などで補うこと

《履修に当たっての留意点》

IoT検定は試験時期が固定されていないため、自ら受験計画を立てて勉学に励むこと

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	1.戦略とマネジメント①		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	1.戦略とマネジメント②		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	2. 産業システムと標準化①		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	2. 産業システムと標準化②		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	3. 法律①		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	3. 法律②		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	4. ネットワーク①		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	4. ネットワーク②		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	5. IoTデバイス、IoTプラットフォーム①		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	5. IoTデバイス、IoTプラットフォーム②		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	6. データ分析①		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	6. データ分析②		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	7. セキュリティ①		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	7. セキュリティ②		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまで学んだことを総ざらいし、体系的に説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	総まとめ		